



未来志向都市・福岡にふさわしい都市施設の創造

みんなで作る21世紀の国際ハブ空港・新福岡国際空港

賑わいの街・生活環境豊かな街・心の優しい街づくり

事業
構
想

—新空港構築による未来志向の博多の街づくり—

- ◆ **世界の潮流・国際ハブ空港建設への対応は海上空港が支流**
世界のグローバル経済・物流化に対応した新ハブ空港建設の潮流は、夜間利用の要因を含めて海上空港が支流。東京・大阪国際空港に続き商都・博多にふさわしい海上空港が期待されます。将来の空港増設にフレキシブルに対応できる構想であります。
- ◆ **現在の空港周辺・福岡都市圏の土地高度利用による経済活性化**
福岡都市圏の経済効果として、現在の空港移転に伴う航空機空域保全の「土地利用の高度制限」が撤廃により、超高層ビルの建設が可能となり、ダイナミックに進化・成長する福岡の街づくり・経済効果が期待されます。

環境問題・市民県民居住環境の保全

〈 基本理念 〉

福岡県民・市民の生命と財産を守る

～県民の声なき声を聞き・豊かな生活環境の革新～

現在の都心空港の問題点

- ◆ **航空機空域に住む人々の住環境の保全**
都市部中心に位置する現在の福岡空港は福岡市民・春日市大野城市を含む福岡県民に対しての日常の航空機騒音は多大ものがあります。
- ◆ **航空機空域に住む人々の生命の保全**
アルカイダ航空機事故時の警鈴を忘れてはなりません。空域住民の生命保全のリスクを軽減しなければなりません。

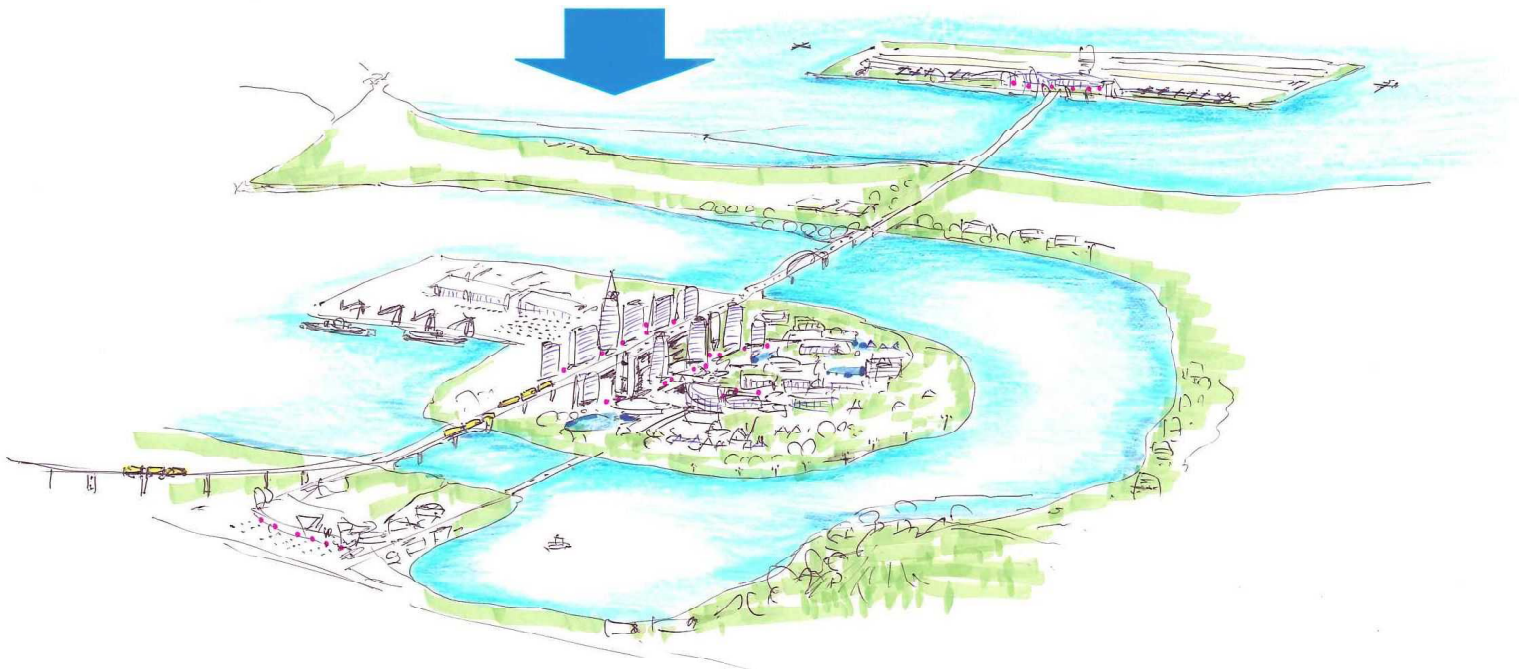
行政の最大の課題は「街に住まう人々の生命と財産の保全」を最優先することではないでしょうか。半世紀の将来を見据えて、福岡新空港の建設指針を福岡県民・市民は「声なき声として」期待していると思われれます。

事業の
展
開

～アイランドシティ事業との相乗効果の期待～

- ◆ **新福岡空港建設事業とアイランドシティ建設事業との事業的連帯による相乗効果**
アイランドシティ事業の事業ポテンシャルを高める効果が期待でき、日本の主要都市に相応しい新たな副都心の街づくりが可能となります。

～元気な街づくり構想が元気な経済効果をもたらします。～



事業の
将
来
性

福岡新空港と福岡都心とをモノレール（地下鉄）にて結ぶ交通アクセスを都市計画案として策定して、アイランドシティを経由することにより、アイランドシティの資産価値の向上を計ります。モノレール新駅周辺の土地活用については、長期的展望に立ち、事業主体の保有を行い高層オフィスビル・ホテル等の高付加価値の構想を持ち、事業の将来的優位を長期的に計ることが求められます。



新福岡国際空港・国際ハブ空港の重要性

人・物・情報の交流が加速する現代において、街づくりの事業において重要なことは、交通システムを含めた物流の流れを将来的観測のなかから予測することが必要といえます。この近年のIT情報化の進歩によるインターネットの普及により、世界の物・情報が瞬時に手元に届く時代となりました。さらに、交通・物流においてもこの時代の流れは加速度的に進歩し続けるものと予測されます。

このような時代背景を的確に把握して、新しい国際ハブ空港・新福岡国際空港を構築することが、世界の経済化・特に高度経済成長を増大させつつある中国・アジア諸国経済化に対応したものと いえます。シンガポール・香港などのアジア各都市で国際ハブ空港の建設によって、現在大きな経済ポテンシャルを有した都市へと変動しています。

日本・アジア圏のなかで重要な位置づけにある福岡において、この時代の潮流に適合した都市の再構築が望まれています。

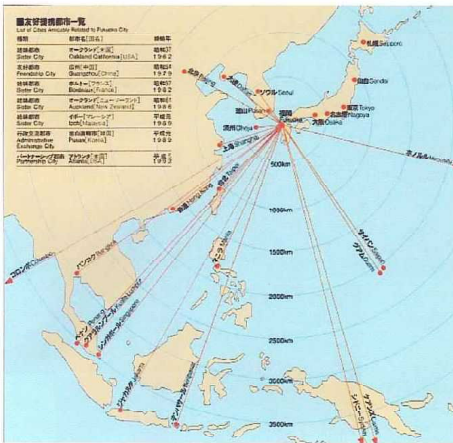


アジアの国際ハブ空港の期待のある韓国・仁川空港



交通アクセス整備によるアイランドシティ事業の展開

国際ハブ空港の福岡新空港と福岡都心とをモノレール（地下鉄）にて結ぶ交通アクセス策定する。アイランドシティを経由することにより、アイランドシティの事業性・地価ポテンシャルを向上させることが期待できます。福岡西部の百地浜開発と並ぶ、福岡東部の新都市施設の構築が求められています。



東京「天王州アイランドシティ」街づくり構想に学ぶ

東京の浜松町と羽田空港間のモノレール沿線に「天王州アイル」という街があります。1980年代には東京から羽田に向かうモノレールが通り過ぎるだけの島で、そこには平屋の倉庫だけが立ち並び島で、何も無い寂しいところでした。その島に新駅の建設の計画とビル事業の開発が提案されました。その当時は事業主体者においも事業の可能性は困難と判断されていました。また、現在の東京の都市化を予測する人さえもなく、ビルテナントを誘致することにも困難を極めました。ただ、将来のビジネスニーズ・航空利用者の増大を予測して、開発事業が推進されました。何より、その事業の推進の基礎になったのが「新駅建設」でした。現在は「天王州アイランドシティ」として、数多くのオフィス・ホテル・マンションの超高層ビルが建設され、東京でも人気のスポットとして、ビジネスマン・観光客で賑わう街として発展を続けています。ここに、私たちの街づくりにおいて重要な「交通アクセス」の位置づけを学ぶことができます。

